

○ 農繁期の天気傾向（1ヶ月長期予報） 4月20日現在

宮崎県では、2017年（平成29年）に入り、気温変化が極端になっています。平均気温は今年の1月10日頃までは、昨年的高温傾向を引きずっていましたが、1月中旬以降下がりが始め、3月が平年よりも1.1℃低くなり寒い春先になりました。

しかし、4月に入ると一気に気温が上がり、平年よりも+1.1℃高い気温になっています。（20日現在）この2、3年でも同じような傾向がみられています。

気温変化が大きい中、4月20日に気象庁から出された1ヶ月長期予報に基づき、これからの天気傾向を解説します。

1 前回4月13日に発表された1ヶ月長期予報と今回の1ヶ月長期予報との比較をすると次のようになります。

(1) 4月13日の予報 単位：% (2) 4月20日の予報 単位：%

	低(少)	並	高(多)		低(少)	並	高(多)
気温	10	30	<u>60</u>	気温	20	<u>40</u>	40
降水量	20	40	<u>40</u>	降水量	<u>40</u>	40	20
日射量	<u>40</u>	40	20	日射量	20	40	<u>40</u>

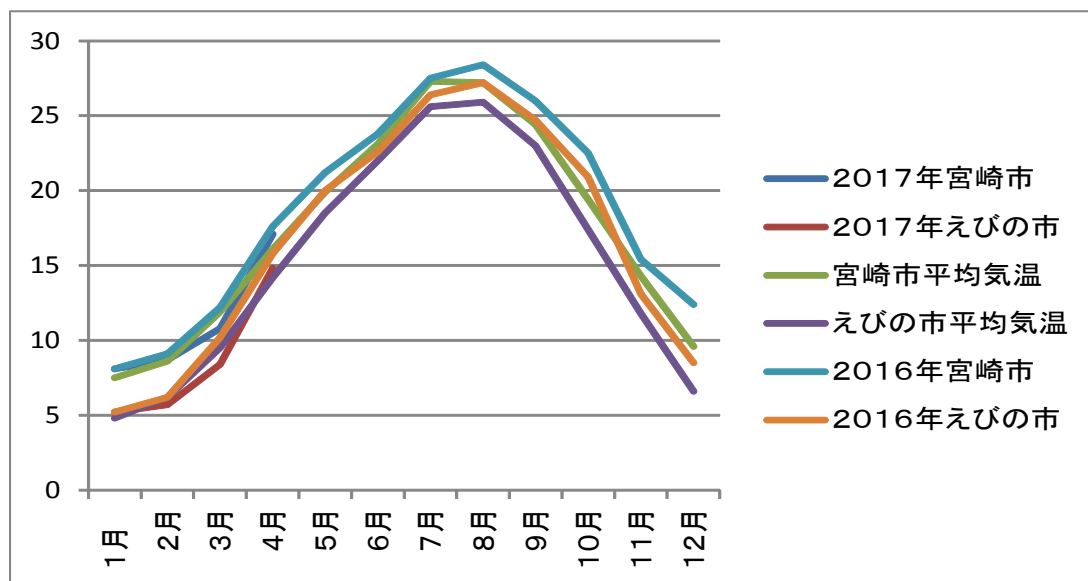
※表の見方については、総合農業試験場HP「農業気象情報⑪」で紹介しています。

上記の表から、この1週間で大きく変わってきています。ポイントは

- ① 気温が平年より高い傾向から、やや平年並みになってきた
- ② 降水量は、やや多いから、やや少ないに変わっている
- ③ 日射量は、やや少ないから、やや多いに変わっている

このデータから九州南部は、前線や気圧の谷の影響がある当初の予報から移動性高気圧に覆われることが多くなる予報に変わり、また、気温は平年並みかやや高く、晴れの日が多く、雨のやや少ない傾向になるという予報になります。

2 今年の気温傾向について



(1) グラフの解説

①宮崎市の気温傾向について

ア 2016年は、1月～3月は平年並みで推移したが、4月に入ると、平年よりも+1.5℃高くなりその後、12月まで平年を超える気温で推移。(薄いブルー一番高いグラフ)

イ 2017年は、1月平年よりも+0.6℃高かったが、2月は平年並み、3月は平年より+1.1℃低い。4月に入ると、気温が上昇し、20日現在で+1.1℃高くなっている。(濃いブルー4月までのグラフ)

②えびの市の気温傾向について

ア 2016年は、1, 2月は平年並だったが、3月に+0.7℃高くなり、4月には+1.6℃とさらに高くなり、その後宮崎市と同じ傾向となっていた。(黄色のグラフ)

イ 2017年は、1月平年より+0.4℃高かったが、2月平年より-0.5℃低く、3月も-1.1℃低くなっている。4月は平年より+0.6℃(20日現在)と宮崎市と同じ傾向だが、気温の上がり方が緩やかになっている(赤色グラフ4月まで)

(2) 気温傾向の予想

2016年は過去2番目に高い平均気温でしたが、2017年については、長期予報では、極端な高温傾向が修正され、平年並みに近づいてきましたので、2016年ほどにはならないのではと予想します。

3 今後の天気の傾向

過去の気温データをみると4月から6月の気温推移の傾向から、その年の後半の気温傾向が見えてくると考えていますので、今後の推移に注目しています。なお、この夏エルニーニョ現象が発生すると予想されていますので、気になるところです。

総合農業試験場企画情報室 気象予報士 村岡精二